

# 健康知恵袋

## 「愛育相談」

黒潮町では、母子保健事業として「愛育相談」を行っています。

### 目的

子どもの健やかな成長、発育の支援と、保護者の子育ての支援を目的とし、乳幼児の身体測定や育児相談を実施しています。

また、保護者同士の交流の場にもなっています。

### 内容

◆身体測定  
身長・体重・頭囲・胸囲を測定します。

◆育児相談  
子どもの発育、生活、栄養面などのご相談について保健師が対応しています。

◆手作りおやつ教室  
栄養士による「手作りおやつ教室」を愛育相談とあわせて年1回実施しています。  
手作りおやつを試食や、栄養士から離乳食についてのアドバイスを受けることができます。



安心して安全な手作りおやつを赤ちゃんに食べさせてあげましょう。

### 対象者

乳幼児と保護者

### 場所

- ◆大方中央保育所  
(地域子育て支援センター)
- ◆大方くじら保育所
- ◆南部保育所
- ◆佐賀老人憩の家

### 実施日

毎月1回

午前9時30分～11時

※各実施場所での実施日については、対象のご家庭にご案内通知や広報くろしお「健康カレンダー」「子育て支援センター通信」コーナーで随時お知らせさせていただきます。

※佐賀老人憩の家については、毎月第3月曜日に実施しています。

### スタッフ

保健師・子育て支援センター職員など

### 参加者の声

「子どもの成長が確認できた」「相談して安心した」という声や、「他のお母さん」と話ができて良かった」「育児を相談し合える友達ができた」などと仲間作りのきっかけとなった声もいただいています。

身体測定や育児相談だけでなく、子どもを遊ばせながら、他の保護者と話をするなど、和気あいあいとした雰囲気で行っています。

皆さんのご参加をお待ちしています。

南部保育所での愛育相談の様子。お母さん同士の交流や情報交換の場にもなっています。



子育て支援センターは広々としたスペースに赤ちゃんの大好きなおもちゃもたくさん置いています。ぜひ遊びに来てください。



## インフルエンザ脳症に注意しましょう



新型インフルエンザの感染が広がっている一方で、「新型インフルエンザは軽症である」との認識も広がっているようです。しかし、国内では小児のインフルエンザ脳症が報告されており、今後の流行とともに増加も考えられます。インフルエンザ脳症とは、インフルエンザの感染により、脳が腫れ、頭蓋骨の中の圧力が高まることで脳全体の機能が低下して、意識障がいをおこすものです。

発熱などのインフルエンザ様症状に加えて、次のような症状が見られたらインフルエンザ脳症の疑いがありますので、急いで医療機関を受診してください。

### 【インフルエンザ脳症の初期症状】

- A：「呼びかけに答えない」など意識レベルの低下がみられる。
- B：けいれん発作が30分以上続いたり、けいれん発作を繰り返し30分以上意識が完全に回復しない状態が続く。
- C：意味不明の言動がみられる。

強い解熱剤(ボルタレン、ポンタールおよびこれらと同様の成分が入っているもの)は、インフルエンザ脳症の予後を悪化させるので、必ず、かかりつけ医師に相談して使用してください。

(厚生労働省：インフルエンザ脳症に係る注意喚起について参照)



【お問い合わせ】健康福祉課／大方総合支所 保健衛生係 ☎43-2836 (直通)・佐賀総合支所 保健衛生係 ☎55-7373 (直通)